

総論と強調

(1) 循環史観

- 通史として書かれた日本現代美術史4冊。
- 1 針生一郎「戦後美術盛衰史」
- 2 千葉成夫「現代美術逸脱史」
- 3 榎本野衣「日本・現代・美術」
- 4 中ザワヒデキ「現代美術史日本篇」

- 歴史とは目次のことである。

総論と強調

(1) 循環史観

- 戦前ヨーロッパ美術
表現主義→反芸術→シュルレアリスムと抽象
- 戦前戦後の欧米、日本にも
前衛→反芸術→多様性
- 生→死→死後 のサイクル
- 20世紀初頭から3回繰り返されている

総論と強調

(1) 循環史観

- 戦前ヨーロッパ美術
表現主義→反芸術→シュルレアリスムと抽象
- 戦前戦後の欧米、日本にも
前衛→反芸術→多様性
- 生→死→死後 のサイクル
- 20世紀初頭から3回繰り返されている
- 2010年から4サイクル目に突入

NEW!

生 → 死 → 死後

第1章

第2章	第3章	第4章
第5章	第6章	第7章
第8章		

生 → 死 → 死後

第1章
シュルレアリスムと多様性

第2章 前衛	第3章 反芸術	第4章 還元主義と多様性
第5章 脱前衛	第6章 再現芸術	第7章 マニエリスムと多様性
第8章 新・前衛		

生 → 死 → 死後

第1章1945-54
シュルレアリスムと多様性

第2章1955-59 前衛	第3章1960-63 反芸術	第4章1964-79 還元主義と多様性
第5章1980-84 脱前衛	第6章1985-94 再現芸術	第7章1995-2009 マニエリスムと多様性
第8章2010- 新・前衛		

生 → 死 → 死後

第1章1945-54
シュルレアリス
ムと多様性
敗戦後の美術状況

<p>第2章1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル</p>	<p>第3章1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター</p>	<p>第4章1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘</p>
<p>第5章1980-84 脱前衛 へたうま、パルコ、超少女</p>	<p>第6章1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京ポップへ</p>	<p>第7章1995-2009 マニエリスムと多様性 スーパーフラット、快樂と方法</p>
<p>第8章2010- 新・前衛 カオス*ラウンジと間欠泉</p>		

第1章1945-54
シュルレアリスムと多様性
敗戦後の美術状況

<p>第2章1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル</p>	<p>第3章1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター</p>	<p>第4章1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘</p>
<p>第5章1980-84 脱前衛 へたうま、パルコ、超少女</p>	<p>第6章1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京ポップへ</p>	<p>第7章1995-2009 マネエリスムと多様性 スーパーフラット、快樂と方法</p>
<p>第8章2010- 新・前衛 カオス*ラウンジと間欠泉</p>		

<p>前史A 戦前の前衛 1910年代 フユザン会と草土社</p>	<p>前史B 戦前の反芸術 1920年代 大正期新興美術運動</p>	<p>前史C 戦前・中の多様性 1930-40年代 シュルレアリスム、 プロレタリア美術、 戦争画</p>	<p>第1章1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況</p>
<p>第2章1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル</p>	<p>第3章1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター</p>	<p>第4章1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘</p>	
<p>第5章1980-84 脱前衛 へたうま、パルコ、超少女</p>	<p>第6章1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京ポップへ</p>	<p>第7章1995-2009 マニエリスムと多様性 スーパーフラット、快樂と方法</p>	
<p>第8章2010- 新・前衛 カオス*ラウンジと間欠泉</p>			

<p>前史A 戦前の前衛 1910年代 フユザン会と草土社</p>	<p>前史B 戦前の反芸術 1920年代 大正期新興美術運動</p>	<p>前史C 戦前・中の多様性 1930-40年代 シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 第1章1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況</p> <p style="text-align: right;">第二次大戦</p>
<p>第2章1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル</p>	<p>第3章1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター</p>	<p>第4章1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘</p>
<p>第5章1980-84 脱前衛 へたうま、パルコ、超少女</p>	<p>第6章1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京ポップへ</p>	<p>第7章1995-2009 マニエリスムと多様性 スーパーフラット、快樂と方法</p>
<p>第8章2010- 新・前衛 カオス*ラウンジと間欠泉</p>		